

## ロベリア リビエラ・シリーズ&レガッタ・シリーズ

リビエラはコンパクトさが特徴のガーデン向けの品種  
レガッタは色幅を備えたトレイリングタイプの早生咲品種、  
バスケットやプランター向きです

■ 株はコンパクトでアップライト(上向き)。リビエラ・シリーズは、開花が早く花色も豊富で、またアウトドアパフォーマンスに優れた、マーケットリーダー的な品種です。在来系のロベリアと比べても約 15 日開花が早く、生産側では生産コストを圧縮でき、小売サイドにおいては販売期間をその分長くとることができます。マウンド型の草姿と花つき多さ、そして草丈約 13cm の使い勝手のよいロベリアです

■ レガッタ・シリーズは極早生に属するロベリアで、トレイリングタイプでは唯一花色のそろった品種となります。類似の他品種と比べても開花では約 4 週早く、春先の出荷では花つきの多寡に大きく差が出ます。株の生育活力は高く、15-20cm にまで育ち、その後でなだらかに枝が垂れる典型的なトレイリングハビットの品種です

■ リビエラ・シリーズ、レガッタ・シリーズとも播種しやすいマルチペレット種子(ペレットあたり 5-7 粒)と普通種子をそれぞれご利用いただけます

本品種の学名: *Lobelia erinus*  
種子粒数: 29,000-45,000 粒/グラム

### プラグ生産ステージ

留意点: マルチペレット種子においては、1 ペレットから 5-7 本の苗が現れるので、必要に応じて間引きします

### 培地

水はけがよく、新しく衛生的な、プラグ生産用の培地を用いましょう。土壌 pH5.5-6.5、EC 値\*を約 0.75mmhos/cm (1:2)が適正です

### 播種

覆土は不要です。ペレット種子を用いる場合は、ペレットが融解しやすいように培地がよく湿った適当な状態を作っておきます

### 温度

発芽温度: 21-26°C  
子葉展開時: 20-23°C  
本葉展開時: 19-22°C  
その後の育苗: 18-20°C  
通常、発芽は 4-6 日かかります

### 光(照度)条件

作型として、日長時間が 12 時間に満たない時期に播種が行われた場合は、開花には時間を要します。その場合、電照で明期を延長することで開花を促成することが可能です

### 肥料

プラグではステージ 2 の段階から、汎用タイプの完全型の肥料を 75-100ppm(N)の濃度で開始します

### 矮化剤

矮化剤はとくには不要です

### 鉢上げから出荷までのステージ コンテナサイズ

リビエラは、カットパッキングなし 9-10.5cm ポット向けの品種。一方のレガッタは、通常のポット苗のほか、セルトレイでの仕込みのあと、ハンギングやミックスコンテナで付加価値をつけて出荷したい品種です

### 培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いましょう。土壌 pH5.2-5.8 が適正です

### 温度

リビエラとレガッタは、適度な温度環境を好みます。夜温が 10-15°C くらいで、花色ののりが最もよくなります。また、昼間温度は 19-22°C が最適です。

### 光(照度)条件

品種的な性質として、日長が 12 時間を超える条件で最も開花が活性化されます。冬場、12 時間の日長がとれないような状況では、開花を早めるために電照が有効です。春から初夏にかけて、高温条件での生産が予想される場合は、遮光することでいくぶん徒長や花色の褪色を防ぐことができます(ただしロベリアは基本的に高温に弱い植物なので、抜本的な解決策とならないこともあります)

## 肥 料

完全型の肥料を 150-200ppm(N)で使用するのが最適です。株をコンパクトにおさえたいのであれば、出荷の前には濃度を下げてください

## 矮 化 剤

ロベリアの丈を抑えるにあたってはB-ナインの有効性で試験を通してわかっています。**レガッタ**では、バスケット等で形のよいハンギングを作るため、徒長が促される前に3,000-5,000ppmの葉面散布を行います。一方**リビエラ**をコンパクトに仕上げる場合には、2,500ppmの葉面で十分な効果があります

## 平均的な生産期間

生産に要する日数は、気温や光の(質的・量的)条件、日長、さらには管理形態がハウスの外か中かなどの諸要因によって大きく異なります。レガッタとリビエラを比較すると、開花に関してはレガッタが7-10日晩生の性質です

播種からポット上げまで (288穴トレイ): 4-5週

ポット上げから出荷まで(リビエラ): 5-6週

ポット上げから出荷まで(レガッタ): 6-7週(トレイ出荷)

8-10週(バスケット出荷)

\*: EC値(電気伝導度)の数値は、北アメリカのビート主体の培地が算出要素になっているので、日本国内では適合し得ない場合もあります。

2005年9月 改定

# PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.  
622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698  
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 [www.panamseed.com](http://www.panamseed.com)

®および®は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

©2003 Ball Horticultural Company Printed in USA PAS03056  
Originally issued as PAS003056 in USA, and under permission translated/revised into Japanese in 2005. Printed in Japan